

We Love ごじょう

支えあい・助けあいのある“まち”を目指し ～うちらで何かやろうよ！ 地域のために～

少子高齢化が進み、生活支援・介護予防といった取り組みの重要性が増すなか、住民同士のつながりや助けあいが持っている力（地域の福祉力）に注目が集まっています。

今、全国の市町村で地域における支えあい活動（住民を中心とした多様な主体）の取り組みが始まっています。

■「市民の集い」



■「勉強会の開催」



■市民の集い・勉強会の開催

五條市では、五條市社会福祉協議会と協力して、住民の皆さんを主体とした地域における“支えあい”活動を進めています。

現在では薄れてきたお互いさま精神ですが、今こそ高齢者も含め住民一人ひとりが社会に参加し、生きがいをもって暮らし続けられる「お互いさんの助けあいがある地域づくり」が必要となっています。

この活動を進めていくため「みんなで創る新しい支えあい・助けあい」をテーマに市民の集いを開催。その後、集い参加者による勉強会を

契機に、現在数地区の地区社会福祉協議会と連携をとり、地域の現状を共有し「どういう活動が必要か？」「メンバーはどうするか？」など話し合いの場を重ね体制を整備しているところです。

この活動は、直ぐに成し得るものではありませんが、市民の皆さんに少しでも理解や関心を持っていただき、進めていくことが必要であることから情報誌を発行いたしました。今後ともご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

あなたの地域でも「支えあい・助けあいの活動」を始めてみませんか！

「We Love  ごじょう」は、五條市内の各地域で進められている「支えあい・助けあい活動」（協議体）の取り組みを市民のみなさんへお知らせするための情報誌です。

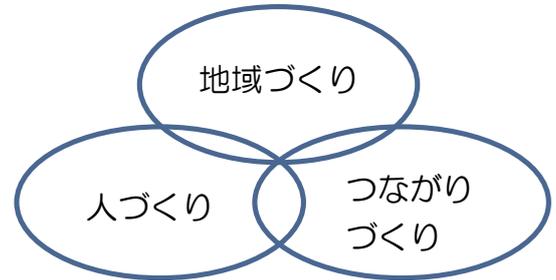
※協議体の概要、各地域の「支えあい・助けあい活動」については裏面をご覧ください。

協議体ってなあに？

福祉の問題や課題には、専門職や行政において制度サービスを整備しなければ解決できないものもあります。一方、住民の皆さまのちょっとした工夫や「支えあい・助けあい」によって解決できるものもあります。

しかし、これらの問題は一人で思い、考えていても解決できるものではありません。数人の仲間が集まり住民が行っている活動を知ったり、地域の「あったらいいね」を提案したり、自分たちでできることを「話しあったりする仲間(場)」のことで。

支え上手・支えられ上手を増やします



《生活の困りごと》

- ・電球の交換ができない
- ・掃除、ゴミ出しが大変
- ・買い物に行けない
- ・話し相手がいない・・・

《支えあいづくり》

- ・元気な高齢者の参加
- ・地域の方の協力
- ・住民一人ひとりの参加、協力・・・

各 地 域 の 取 組 み

■「寿々会」

五條中央地区でふれあいサロンを行っているメンバーにより、地域のことを話し合っている「寿々会」です。

今回は防災・避難方法について勉強しました。



地域の支えあい活動を生活支援コーディネーターがお手伝いします！

地域づくりについて一緒に考えていきます

みなさんの地域での活動を教えてください



困りごとをお気軽にご相談下さい

五條市の「あったらいいね！」を一緒に考えましょう

※ 生活支援コーディネーターは、五條市社会福祉協議会に配置しています。

5年後10年後の住みよいまちづくりをみなさんと一緒に考えます！

■「阪合部サポートチーム(ホウノ木)」



阪合部地区で協議体づくりをすすめていくため、地域の問題や解決方法についてメンバーで勉強会を重ねています。

協議体の名称は「阪合部サポートチーム(ホウノ木)」です。

地域の防災をテーマに、一人暮らしの高齢者や避難所までの経路の確認など、地域の「防災マップづくり」を始めています。

【編集発行・問合せ先】

五條市役所介護福祉課(長寿係)
〒637-8501 五條市本町1丁目1番1号
電話 0747-22-4001(内線 292)

【共同編集】

五條市社会福祉協議会(地域福祉係)
〒637-0043 五條市新町3丁目3番2号
電話 0747-24-4152